

圓鏢勝三彫刻美術館 令和7年 春季展

圓鏢勝三

# タヒチ旅行記

昭和五十年十二月末  
タヒチスケッチ旅行。



圓鏢勝三「タヒチの追想」

開館時間：午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料：大人420円（340円）、高校生310円（250円）※（ ）内は20名以上の団体料金  
中学生以下・70歳以上（要年齢確認）各種手帳をお持ちの方は無料  
（スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用可能）

- \*身体障害者手帳  
所持本人（1級～4級の場合は付添人1人）
- \*療育手帳  
所持本人、および付添人1人
- \*精神障害者保健福祉手帳  
所持本人、および付添人1人

4/6日

## みつき桜まつり

詳細はホームページまたは SNS にてお知らせいたします



2/18 火

6/8 日



圓鏢勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM  
〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾 220 番地  
TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071

# 圓鏢勝三 タヒチ旅行記

圓鏢勝三は明治38(1905)年に尾道市御調町に生まれ、16歳の時に彫刻家を志し京都へ行きます。23歳で日本美術学校へ入学し努力と勉強熱心さから夢をかなえ、日展をはじめ様々な公募展で活躍し、多摩美術大学で教鞭をとるなど近代彫刻界に影響を与えた彫刻家の一人となりました。昭和63(1988)年にはその功績が認められ、文化勲章を受章します。

作風は肖像など写実的な作品から素材や形を心のままに心象の世界を表現した作品まで、多岐にわたります。現在でも、広島平和公園や東京駅、南は沖縄から北は北海道まで設置されている野外彫刻は人々に愛され続けています。

圓鏢勝三は昭和37(1962)年に初めての海外旅行へ行きます。東南アジア・中近東・欧米など二十数か国を3か月かけて巡る旅でした。この大旅行を皮切りに、より形が強調された、異国情緒を感じる作品を多く制作していきます。

様々な場所を旅した中でも、旅先の文化を積極的に作品へ取り入れたのが、昭和50(1975)年のタヒチ旅行でした。年末から年始にかけて日本画家堅山南風と共に旅したタヒチでは、スケッチも行っており、旅行後制作した作品にはヤシの木や民族衣装など旅行記のようにタヒチでの情景が作品へ反映されています。

本展では、タヒチへ旅行後の作品をはじめとする異国情緒あふれる作品をご紹介します。圓鏢が旅から着想を得て制作した作品をぜひご覧ください。



左：圓鏢勝三「タヒチの追想」

右：圓鏢勝三「タヒチの浜辺」

## 会期中のイベント

4/6(日) みつぎ桜まつり

募集期間 / 3/25(火)~4/27(日) みつぎ写真展

詳細は圓鏢勝三彫刻美術館ホームページまたは SNS にてお知らせいたします。



### 【交通機関】

[JR・バス利用]

JR尾道駅、JR新尾道駅から、  
中国バス「甲山」「御調高校前」行きに乗車、  
「道の駅クロスロードみつぎ」下車タクシーで約10分

[車利用]

東、北からは尾道自動車道・尾道北IC経由、西からは山陽自動車道・三原久井IC経由国道486号線で御調町へ、  
国道184号線府中分かれ交差点を左折して約5分

美術館 HP

X (旧 Twitter)

Facebook



圓鏢勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM  
〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾220番地  
TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071